

投資対象としてのアート

インディペンデント・ギャラリー

ギャラリー

絵画の世界で2つの楽しみ

この数年、イギリスの不動産が大幅に値上がりしたのはご承知の通りです。株式相場は今も力強い右肩上がりの動きを続けています。こうした状況を背景に、投資の対象として、絵画市場もまた近年にない盛り上がりを見せています。サザビーズやクリスティーズなどのオークションハウスでは、予想を大きく上回る高値での落札が続いています。ただ、過去の最高値を更新する作品の多くは名の知れた大家のオリジナル作品で、一般の投資家には簡単に手が出ません。しかし、あきらめることはありません。少額でも気軽に投資できる作品があります。それは Limited Edition と呼ばれる限定版のリトグラフやシルクスクリーンです。これは、アーティストとエージェントが発行部数を決めて印刷をした後、その元になるオリジナルを廃棄することによって再び印刷が出来ないようにしたものです。絵画市場で今、この限定版のリトグラフやシルクスクリーンが値上がりし、注目を集めています。限定版には通常、アーティストによるサインが入っています。サインの無いものもありますが、その後の値上がりに影響が出るので注意が必要です。一般的には、発行部数が少ないほうが珍重される傾向

があります。

絵画の世界で2つの楽しみ、その1つはもちろん絵そのものを楽しむことです。お気に入りのアーティストの絵を壁に飾れば、いつのも生活空間が別世界に生まれ変わり、疲れた心も癒されます。そして2つ目は、楽しみながら投資が出来ることです。株式や不動産など、投資にはいろいろありますが、楽しみながら投資による利益を期待出来るのは絵画の大きなメリットのひとつです。また絵画は将来値上がりした後、売却したり、祝い事などの贈り物にしたりすることも可能です。すでにウォーホールやリキテンシュタインなどの価格上昇はこのトレンドを裏づけています。ここにきて、出遅れ感のあった英国のポップ・アートにも価格の上昇が見えてきました。

リトグラフやシルクスクリーンへの投資にも、将来の大作画家を探す楽しみがあります。しかし、安全な投資を目指すなら、やはりピカソやシャガール、マティス、モアーなど著名なアーティストを対象にする方がいいでしょう。その場合でも、作品の質をじっくり見極めることが肝要です。限定版の部数、サインの有無（投資としてはサインが必要）、保存状況（特に色あせに注意）など、いくつかのチェックポイントがあります。信頼のおける専門家から助言を受けることをお勧めします。



インディペンデント・ギャラリーとは

インディペンデント・ギャラリーは1980年後半にポップ・アートを専門に扱うギャラリーとしてロンドンに誕生しました。現在ではピカソやブッフエなどのモダン・アートも扱っております。個人のコレクターを始め、法人、公共機関（美術館）など幅広いビジネスにも対応しております。投資としての絵画購入、売却希望作品の鑑定、一般アドバイスなどのサービスを行っておりますのでお気軽にご連絡下さい。

information

インディペンデント・ギャラリー

Web:<http://www.igartonline.com>

E-mail:info@igartonline.com

Tel:02077042297

担当: ノノ・ハーディー (日本語)